

No. 564
2018年
7月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、近藤賞（2年に一度偶数年）、業績賞、実施賞、普及賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

推薦提出書類

1. 近藤賞：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）
2. 業績賞、普及賞、実施賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：各規程推薦状フォーム

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>

* 論文賞の推薦はありません。

推薦締切日

1. 近藤賞：2018年9月30日
2. 業績賞、普及賞、実施賞：2018年11月30日
3. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2019年1月31日
4. 学生論文賞：2019年3月31日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

詳細は<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>をご覧ください。

〔近藤賞〕

2007年に日本OR学会創立50周年事業の一環として創設された賞であり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。（100円/名）

推薦対象者：ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

推薦方法：日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

* 「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

* 受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2019年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満65歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金30万円/1名）

* 2017年度より業績賞被推薦者は「60歳以下」から「65歳以下」に変更されました。

* 2018年度より副賞金は「10万円」から「30万円」に変更されました。

〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。1. 本学会員であること。2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円/1名）

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、

この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。(副賞金20万円/1名)

【事例研究賞】

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

【論文賞】

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。(副賞金30万円/1件)

【学生論文賞】

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

● 2018年秋季シンポジウム (第79回)

日 程：2018年9月5日(水)

場 所：名古屋市立大学 川澄キャンパス病院ホール

テーマ：「社会に浸透・拡大するAIとOR」

実行委員長：茨木 智(名古屋市立大学)

事前振込参加費：8/29(水) 締切

正会員・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：8/29(水) 締切

2018年度年会費納入済み個人正会員は、2018年秋季シンポジウムに無料で参加できます。(ただし、年1回に限りますので、2018年春季シンポジウムに利用された方は、今回利用することはできません。)研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無

料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、「正会員特典利用によるシンポジウム参加」を事務局宛にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：5,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

協賛学会(正会員と参加費同額)：

日本経営工学会(JIMA)、日本品質管理学会(JSQC)、日本信頼性学会(REAJ)、研究・イノベーション学会(Jsrpim)、日本設備管理学会(SOPE-J)、経営情報学会(JASMIN)、プロジェクトマネジメント学会(SPM)

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2018年秋季研究発表会

日 程：2018年9月6日(木)~7日(金)

場 所：名古屋市立大学 山の畑キャンパス

テーマ：「スマートモビリティ社会とOR」

実行委員長：田地宏一(名古屋大学)

発表申込：7/9(月) 締切

事前振込参加費：8/29(水) 締切

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員(非会員学生を含む)の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴いたします。(事前振込、当日お支払い同額です。)

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：10,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

懇親会：

会場：名古屋市立大学 山の畑キャンパス内

日時：2018年9月5日（木）発表会終了後

懇親会費（事前振込み）：5,000円（8月29日（水）
締切）

* OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。

懇親会費（当日受付）：6,000円

* 当日受付には限りがありますので、なるべく事前
振込みをお願いいたします。

賛助会員の方へ：

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加でき
ます。

賛助会員受付にて名刺をご提示ください。（事前の
参加連絡は不要です。）ご参加者様については、社内
で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表
会アブストラクト集をお送りします。

企業展示：参加企業募集中

協賛学会（正会員と参加費同額）：

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会
（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノ
ベーション学会（Jsrpim）、日本設備管理学会
（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェ
クトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2019年春季シンポジウム

日 程：2019年3月13日（水）

場 所：千葉工業大学 津田沼キャンパス

実行委員長：井上朋也（千葉工業大大学）

● 2019年春季研究発表会

日 程：2019年3月14日（木）～15日（金）

場 所：千葉工業大学 津田沼キャンパス

実行委員長：井上朋也（千葉工業大大学）

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列研究部会〕

・第277回

日 時：平成30年7月28日（土）14:00～17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館（W）
809号室

テーマと講師：

(1) “Externalities, optimization and regulation

in queues”

Moshe Haviv（The Hebrew University of
Jerusalem）

(2) “Getting more out of generating functions
than just mean values”

Joris Walraevens（Ghent University）

問合せ先：幹事 フンドック トゥアン（筑波大学）

E-mail: tuan@sk.tsukuba.ac.jp

● 新宿OR研究会

〔第380回〕

日 時：2018年7月17日（火）12:00～14:00

講 師：石井儀光氏（国土交通省 国土技術政策総合
研究所）

テーマ：「地理情報の可視化」

場 所：OR学会事務局会議室

（千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F）

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円（昼食代を含みます。事前にメール
にてお申し込みください。）

詳細：<http://www.orsj.or.jp/activity/others.html>

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〔第381回〕

日 時：2018年9月18日（火）12:00～14:00

講 師：八戸英夫氏（工学院大学工学部機械システム
工学科）

テーマ：「首都圏鉄道の振替輸送について」

その他、上記と同じ（場所は事務局）

● 中部支部「SSOR中部支部2018」

趣 旨：OR学会中部支部では、SSOR中部支部2018
を開催します。昨年度のSSOR中部支部2017を引
継ぎ、若手研究者の育成と人的交流の促進を目的に、
1泊2日の合宿形式で開催される研究会です。中部
支部だけでなく、全国のOR学会関係者の参加を募
集します。本研究会では、

・若手研究者による発表（ショートまたはロング）

・チュートリアル講演

・懇親会

を行います。

「若手研究者」は、平成生まれ、または、学籍のあ
る方を想定しています。そのうえで、本人もしくは指

導教員がOR学会員であることが参加するうえで必要です。

宿泊の手配の制約上、7月末までに事前登録をお済ませください。

日時：2018年8月30日（木）、31日（金）

場所：愛知県犬山市犬山甲塚48-3サンパーク犬山

参加費：発表者5,000円、一般10,000円 他

参加登録方法：指定のGoogle フォーム

（中部支部Webページをご覧ください）

問合せ先：

SSOR 中部支部2018代表 金子美博（岐阜大学）

E-mail: fau@gifu-u.ac.jp TEL: 090-6356-4221

● 他学協会協賛案内

* OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会にお問い合わせください。

・第34回ファジィシステムシンポジウム

日程：2018年9月3日（月）～9月5日（水）

場所：名古屋大学東山キャンパス

主催：日本知能情報ファジィ学会

参加費：日本知能情報ファジィ学会会員価格に準ずる

WEB: <http://fss2018.j-soft.org/>

・第20回日本感性工学会大会

日程：2018年9月4日（火）～6日（木）

場所：東京大学工学部二号館

主催：日本感性工学会

参加費：日本感性工学会会員価格に準ずる

WEB: <https://www.jske.org/taikai/jske20>

・計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2018 (SSI2018)

日程：2018年11月25日（日）～27日（火）

場所：富山国際会議場

主催：計測自動制御学会・システム・情報部門

参加費：計測自動制御学会会員価格に準ずる

WEB: <http://ssi2018.sice.or.jp/>

● 公募案内

* 詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。

・富山県立大学工学部電子・情報工学科

募集人員：講師又は助教1名

所属：電子・情報工学科情報基盤工学講座

専門分野：IoT（Internet of Things）基盤工学分野

応募資格：次の（1）から（6）の要件をすべて満たすこと。

- （1）博士の学位を有すること（採用予定日までに博士の学位取得が確実な場合を含む）。
- （2）工学部及び大学院の教育・研究に対して意欲と熱意があり、大学運営並びに産学連携等の地域貢献に対して十分な理解と積極性を有すること。
- （3）電子・情報工学科においてアプリケーション設計・開発やオペレーションズ・リサーチ等の講義、関連分野の実験、演習、卒業研究等を担当でき、大学院で、IoT基盤工学および関連分野の講義ならびに研究指導ができること。
- （4）IoTの基礎となる、フロントエンド開発、サーバサイド技術、ICTインフラ構築等に関する今日的テーマに意欲的に取り組み、独創的研究を展開できること。
- （5）日本語を母語としない場合は、学内の諸業務の遂行が可能な日本語運用能力を有すること。
- （6）関連分野の教員と連携して研究・教育を行うこと。

勤務形態：

- （1）講師として採用する場合
任期なし（満65歳の定年に達した日の属する学年の末日まで）
- （2）助教として採用する場合
任期7年（再任なし。教育、研究、地域貢献、大学運営等に係る業績や活動状況等により、任期内に登用する場合がある。）

勤務場所：公立大学法人富山県立大学

（富山県射水市黒河5180）

採用予定日：2019年4月1日

応募書類：

- （1）履歴書（市販品の利用可。写真を添付し、連絡先にEメールアドレスも記載してください。また、応募する専門分野を明記してください。） 1部
（注）本学のホームページに履歴書の様式及び記載例を掲載していますので、ご参照ください。
<http://www.pu-toyama.ac.jp/>
- （2）学位（博士）取得証明書（コピー可）1部
- （3）業績リスト（次の項目ごとに記載してください。様式自由・A4縦サイズ） 1部

①学位論文, ②学術論文, ③国際会議プロシーディングス(査読有), ④著書, ⑤特許(公開及び登録), ⑥受賞歴(履歴書に記載してある場合を除く), ⑦翻訳論文, ⑧国内外学会口頭発表・研究発表, ⑨解説, 報告等, ⑩紀要, ⑪特許(出願), ⑫国内外学会活動, ⑬学外活動(産学連携, 地域貢献等), ⑭外部資金の獲得状況, ⑮その他特記事項

- (4) 代表的論文5編の別刷り(コピー可) 各1部
 (5) 研究経歴書(様式自由・A4サイズ) 1部
 (6) 研究経歴と関連付けた今後の研究計画と教育についての実績及び抱負(様式自由・A4縦サイズ) 1部
 (7) 応募者に係る推薦書(推薦者の氏名及び連絡先を含む)(様式自由・A4縦サイズ) 1部

応募期限: 2018年8月17日(金) 必着

選考方法:

- (1) 第1次選考: 提出書類により行い, 選考結果は, 応募者宛に郵送にて通知します。
 (2) 第2次選考: 面接(模擬講義を含む)により行います(第1次選考合格者に詳細を通知します)。
 (注) 面接に係る交通費等の費用の支給はありませんのでご了承ください。

書類提出先および問合せ先:

〒939-0398 富山県射水市黒河5180
 富山県立大学工学部電子・情報工学科
 主任教授 唐山英明 宛

(注) 応募書類は簡易書留による郵送とし, 封筒の表に「教員公募書類在中(電子・情報工学科IoT基盤工学分野)」と朱書きしてください。

TEL: 0766-56-7500(内線480)
 FAX: 0766-56-6172(学科事務室)
 E-mail: touyama@pu-toyama.ac.jp

その他:

- (1) 男女共同参画社会基本法に則って教員の選考を行います。
 (2) 適任者がいない場合は, 今回の採用を見送ることがあります。
 (3) 応募書類に記載されている個人情報については, 本選考の目的のみに利用し, 関係法令の規定等に基づくなど正当な理由なく第三者への提供等を行うことはありません。
 (4) 応募書類は原則として返却しませんのでご了承ください。

・近畿大学工学部情報学科

募集人員: 教授・准教授または講師1名

専門分野: データサイエンス分野(人工知能, オペレーションズ・リサーチ, など)

担当科目: アルゴリズムとデータ構造, シミュレーション科学, オペレーションズ・リサーチ, など

応募資格: (1) 博士の学位を有する方, (2) 大学院の指導を担当できる方(教授・准教授の場合), (3) 上記専門分野における研究業績があり, 教育熱心な方, (4) 学部運営に熱意を持ち, 他教職員と協調できる方

着任時期: 2019年4月1日

提出書類: Webページ(<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/employment/index.html>)の「平成31年度教員公募募集要項 情報学科」をご覧ください。

応募締切: 平成30年8月31日(必着)

送付先: 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 学部長 野村正人 宛
 (提出書類を厳封の上, 「教員応募書類(情報学科)」と朱書きし, 簡易書留でご送付ください。)

照会先: 情報学科 学科長 田中一基

TEL: 082-434-7384
 ダイヤルイン: 082-439-1110(内線873)
 E-mail: kazumoto@hiro.kindai.ac.jp

*詳細はWebページ(<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/employment/index.html>)の「平成31年度教員公募募集要項 情報学科」でご確認ください。

●新入会(2018年5月理事会承認分)

—賛助会員A種—

ヤマト運輸(株)

—正会員—

田口 壮輔 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
 宝来 美緒 伊勢学園高等学校(中部支部)
 原口 春海 茨城大学
 斎藤 一 北海道情報大学(北海道支部)

—学生会員—

山本 彩圭 関西大学大学院(関西支部)
 崎山 皓瑛 関西大学大学院(関西支部)
 中村 太信 首都大学東京
 井手 健太 工学院大学大学院

趙 友	関西大学 (関西支部)
岡田 嵩史	南山大学 (中部支部)
梅村 一輝	南山大学 (中部支部)
日出山 慎人	筑波大学
阿久津 康平	筑波大学
江頭 大	早稲田大学大学院
柏木 伸哉	南山大学 (中部支部)
杉 隆成	南山大学 (中部支部)
秋山 祥伍	茨城大学
窪谷 正貴	茨城大学
佐藤 慎也	南山大学 (中部支部)
山元 貴裕	南山大学 (中部支部)

* 支部表記のない方は本部所属です。

2018年度第1回 ORセミナー『Python言語によるビジネスアナリティクス』

開催趣旨: 実務家のための最適化・統計分析・機械学習などのオペレーションズ・リサーチの分野で必要となるツールの使い方をご紹介します。Python言語の文法を覚えた初学者にとって、デファクトスタンダードとなるライブラリを探す手間を省きます。Pythonのユーザーフレンドリーさと自由度の高さを体験しましょう。

参考書籍:

『Python言語によるビジネスアナリティクス』 http://logopt.com/python_analytics/

『Pythonによる数理最適化入門』 <http://www.asakura.co.jp/books/isbn/978-4-254-12895-6/>

日時: 2018年7月28日(土) 10:00~17:00

会場: (株)構造計画研究所 本所新館 (地下1階レクチャールーム)

〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065

東京メトロ丸の内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分

<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: (株)ビープラウド (以下BP) 斉藤 努

司会: 東京海洋大学 久保幹雄

定員: 50名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

10:00~10:10 **セッション0**「環境構築について」 講師:BP 斉藤 努

10:10~10:40 **セッション1**「対話型シェルIPythonとJupyter」 講師:東邦大学 並木 誠

インタラクティブに実行でき、記録・共有・再現に効果を発揮するIPythonの紹介

10:50~11:30 **セッション2**「データ分析」 講師:BP 斉藤 努

pandasによるデータ分析や可視化を紹介

11:30~12:20 **セッション3**「回帰分析」 講師:BP 斉藤 努

線形回帰, Ridge回帰, Lasso, Elastic Netなどを紹介

13:00~13:50 **セッション4**「機械学習」 講師:東邦大学 並木 誠

機械学習の代表的なPythonモジュール: scikit-learnの主な分析手法を紹介

14:00~14:50 **セッション5**「最適化~概要」 講師:東京海洋大学 久保幹雄

最適化問題を分類し、幾つかの代表的な最適化問題に整理するとともに、各最適化問題を解くためのソルバーとモデラーを紹介

15:00~15:40 **セッション6**「最適化~実践」 講師:東京海洋大学 久保幹雄

数理最適化ソルバー Gurobi, PuLP, 非線形最適化ソルバー OpenOptを統一的に使用するためのモジュール、ならびに制約最適化とスケジューリング最適化のためのモジュール (SCOP, OptSeq)を紹介

15:50~16:30 **セッション7**「ネットワークと動的最適化」 講師:東京理科大学 小林和博

グラフ・ネットワーク関連解析のためのモジュールであるNetworkXと動的計画の設計法を紹介

16:40~16:55 **質問コーナーおよびアンケート記述**

16:55~17:00 **閉会挨拶** 東京海洋大学 久保幹雄

参加費 (テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員20,000円。

※正会員でない賛助会員および非会員/学生非会員は、入金金無料で入会でき (それぞれ正会員/学生会員となる)、2018年度の年会費は免除されます。

申込方法: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

(お名前, ご所属先, 正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員, 学生非会員, お支払予定日を記入してメールにてお申込みください。)

申込および振込み締切: 2018年7月17日(火)

振込先: みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会 (正会員と参加費同額): 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsripim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

*詳しくは、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html>をご参照ください。

日本OR学会創立60周年記念事業

本部SSOR 2018

SSORとは：

SSOR（エスエスオーアール）とは、オペレーションズ・リサーチ（OR）における様々な分野で活動が続いている若手の企業人・研究者・学生などの人材交流支援と創造的活動創出を目的とした合宿形式の夏季セミナーです。SSORは、平成10年までに33回にわたりORコミュニティ有志により開催され続けてきました。また、2007年8月には、日本オペレーションズ・リサーチ学会 創立50周年記念事業としてSSOR2007（@伊東）が開催されました。

さて昨年度から日本オペレーションズ・リサーチ学会創立60周年記念事業の一環として各支部でSSORが開催されてきましたが、本部においても2018年8月末にSSORを開催します。このSSORを利用し、オペレーションズ・リサーチ分野の多くの優れた人材との交流を楽しみ、そしてオペレーションズ・リサーチ分野における創造的・革新的な活動のきっかけを作ってください。教育研究機関・企業等の所属組織を問わず、オペレーションズ・リサーチ分野で活動している様々な背景をもつ多くの皆様の参加をお待ちしています。

特別講演：

大宮英明氏（株式会社 三菱重工業 取締役会長，2014～2015年度OR学会会長）

大山達雄氏（政策研究大学院大学 名誉教授，2016～2017年度OR学会会長）

日 程：2018年8月29日（水）～31日（金）

会 場：水上温泉 源泉湯の宿 松乃井（群馬県利根郡みなかみ町湯原551）

早期参加申込締切日：2018年7月6日（金）

通常参加申込締切日：2018年7月31日（火）

発表申込締切日：2018年7月6日（金）

参加費：

早期申込：学生22,000円 一般31,000円

通常申込：学生25,000円 一般35,000円 賛助100,000円

ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/~ssor2018/>

企業の方へ

本部SSOR2018にご賛助いただける場合は下記問合せ先までご連絡をお願いします。賛助特典もございますので、お問合せください。

問合せ先：実行委員長 成島康史（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院）

E-mail: narushima@ynu.ac.jp

ORに関するお薦め図書の情報をお寄せください

本学会広報委員会ではORに関する情報発信を強化するため、学会ホームページをはじめとした情報基盤を拡充するためのプロジェクトを進めています。その一環としてORに関連する図書の情報を集め、ORの実践や学習・研究などに資する場を提供します。

第一弾としまして、広報用のTwitterアカウント【URL】https://twitter.com/orsj_pr_devもしくは



において、ORの図書情報を収集し、集められた情報を当Twitterおよび機関誌などで発信していく予定です。

お薦め図書の情報について随時募集も行っています。書誌情報やコメントを以下の1., 2.いずれかの方法でお寄せください。

1. Twitterでツイート：

個人の公開Twitterアカウントにてハッシュタグ#OR本を付けてツイート。

2. Googleフォームから入力：

【URL】<https://goo.gl/forms/vSq221015kaLguby2>もしくは



にて図書情報を入力（アンケート形式）し送信。

いずれの場合もお寄せいただいた情報は上記Twitterアカウントにて公開されます。なお2.の場合、Googleフォームから入力された情報はそのまま1.と同一のTwitterアカウントに転送されます（ハッシュタグは不要です）。ただしTwitterの文字制限（140字以内）を超える場合、2つ以上のツイートに自動的に分解されます。またお寄せいただいた情報は、不定期に学会HP、機関誌などで紹介させていただく場合があります。

本件問い合わせ先：日本OR学会広報委員会内 E-mail: or-review@orsj.or.jp

OR関連企業とOR専攻学生の交流を促進するための インターンシップ広告の募集について

企業関係者各位

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
研究普及委員会

OR学会では、ORの更なる発展のための施策について検討を続けております。この活動の中で、ORを専攻する学生に対して研究者になるための教育・育成を支援するだけでなく、就職を希望する場合にOR関連企業に就職してもらうことが、ORの更なる発展には重要であると考えました。

そこで、OR関連企業の皆様にOR専攻学生との接点を豊富に持っていただけるように、企業のインターンシップや就職に関連する情報を当学会に所属する教員とその学生向けに、当学会の各種媒体を通じて積極的に発信させていただくことにいたしました。まず、第一弾として、インターンシップ広告の募集について概要をご説明させていただきますので、関係各位にはぜひこの機会に、積極的に学生との交流を促進できるようにご活用をお願い申し上げます。

【本支援サービスの目的】

本支援サービスでは、OR関連企業のインターンシップ情報をOR専攻学生に的確に届けることで、OR専攻学生に対してOR関連企業での就業体験機会をより豊富に提供し、社会での活躍の場についての視野を広げていただくとともに、OR活用企業には必要な人材を採用する機会を増やしていただくことを目的としています。インターンシップ広告の募集に関して具体的に以下ご説明いたします。

【募集】、【情報発信】、【応募】3つのフェーズからなります。

(1) 【募集】

OR関連企業がインターンシップ募集広告の広報を希望する場合には、広報用の情報を所定の応募様式に記入して当学会宛に提供していただきます。応募の詳細は【募集広告・情報提供の申し込み方法について】を参照の上お申し込みをお願いします。

なお、企業のホームページや就職専門情報サイト等にてインターンシップ募集を公募している場合などもあるかと存じますが、その場合は、インターンシップの申し込みをそれらのサイトを通して申し込むように誘導していただいて構いません。当学会からの募集広告はインターンシップを希望するOR専攻学生にダイレクトに届けるための一つの追加的な手段とお考えください。

(2) 【情報発信】…学会のホームページ、メールマガジン等での情報発信

当学会が、OR関連企業から依頼を受けたインターンシップ募集に関する広告を、当学会のホームページに掲載し、会員の教員・学生向けに（および教員を通してその学生向けに）メーリングリストやメールマガジン等にて情報を発信します。

(3) 【応募】…学生が企業に直接コンタクトします

企業からのインターンシップ募集情報に興味のある学生（教員）には、直接当該企業の窓口に応募や問い合わせ等を行うように誘導いたします。当学会では学生からの申し込みを仲介しません。学生が直接企業に申し込みを行う形となりますのでご理解をお願いします。なお、事後的に当学会の担当部門より広告の効果等に関するヒアリングを実施させていただくこともありますのでご協力願います。

【募集広告・情報提供の申し込み方法について】

インターンシップ広告への出稿を希望される企業のご担当者様は、当学会のホームページに掲載した応募様式に記入のうえ、以下のメールアドレスまでご連絡をお願いします。なお、メールの件名には、『インターンシップ募集広告の件』と明記してください。また、本支援サービスに関するご不明点などもお気軽にお問い合わせください。なお、申し込みにあたっての別途費用は不要です。

【募集広告の申し込み時期について】

今回のインターンシップ広告の申し込みは随時受け付けております。当学会にて応募様式を受領後、内容を確認の上、情報発信の手続きを進めさせていただきます。

【本支援サービスへの応募にあたっての留意事項】

- (1) 当学会では、OR関連企業とOR専攻学生を結びつけるための情報提供・広告を実施いたしますが、企業と学生との連絡等のコミュニケーションを仲介いたしません。
- (2) インターンシップ広告は、OR専攻学生以外にも目にする可能性があることから、想定外の学生から応募があることや、逆に全く応募がないことも考えられます。当学会では応募者の質や量などに関しては関知いたしません。
- (3) 応募内容によっては、当学会の判断でお申し込みをお断りすることがございます。

会員の皆様におかれましては本支援サービスの積極的なご活用を期待しております。

【申込先】

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 研究普及委員会 インターンシップ広告担当

E-mail : internship@orsj.or.jp TEL: 03-3851-6100

*学会ホームページ : <http://www.orsj.or.jp/index.html>

*インターンシップ募集の応募用紙ダウンロード (word) :

<http://www.orsj.or.jp/members/announce.html#internship>

*インターンシップ募集の広告掲載 : <http://www.orsj.or.jp/members/recruit.html>

OR関連企業とOR専攻学生の交流を促進するための 就職説明会広告の募集について

関係者各位

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
研究普及委員会

OR学会では、ORの更なる発展のための施策について検討を続けております。この活動の中で、ORを専攻する学生に対して研究者になるための教育・育成を支援するだけでなく、就職を希望する場合にOR関連企業に就職してもらうことが、ORの更なる発展には重要であると考えております。そこで、昨年春から夏にかけて、OR関連企業でインターンシップ業務を希望する学生向けにインターンシップ募集広告を案内するサービスを実施いたしました。

今般、第二弾として、OR関連企業様による人材採用のチャンスが増えるように、企業の就職説明会の開催情報を、当学会に所属する教員とその学生向けに、当学会の各種媒体を通じて積極的に発信させていただくことにいたしました。ここに、その概要をご説明させていただきますので、関係各位にはぜひこの機会に、積極的に学生との交流を促進できるようにご活用をお願い申し上げます。

【本支援サービスの目的】

本支援サービスでは、OR関連企業の就職説明会の開催情報をOR専攻学生にダイレクトに届けることで、OR専攻学生に対してOR関連企業をより深く知る機会を提供し、OR専攻する学生を採用する機会を増やしていただくことを目的としています。本広告の募集に関して具体的に以下ご説明いたします。

【募集】、【情報発信】、【応募】3つのフェーズからなります。

(1) 【募集】

OR関連企業が就職説明会の開催情報の広報を希望する場合には、広報用の情報を所定の応募様式に記入して当学会宛に提供していただきます。応募の詳細は【募集広告・情報提供の申し込み方法について】を参照の上お申し込みをお願いします。

なお、企業のホームページや就職専門情報サイト等にて就職説明会の開催情報を広報しているかと存じます。当学会からの募集広告はOR専攻学生にダイレクトに就職説明会の開催情報を届けるための一つの追加的な手段とお考えください。

(2) 【情報発信】…学会のホームページ、メールマガジン等での情報発信

当学会が依頼を受けた就職説明会の開催情報に関する広告を、当学会のホームページに掲載し、会員の教員・学生向けに（および教員を通してその学生向けに）メールマガジンやメールマガジン等にて情報を発信します。

(3) 【応募】…学生が企業に直接コンタクトします

企業からの就職説明会の開催情報に興味のある学生（教員）には、直接当該企業の窓口に応募や問い合わせ等を行うように誘導いたします。当学会では学生からの申し込みを仲介しませんのであらかじめご了承ください。

【募集広告・情報提供の申し込み方法について】

就職説明会の開催情報の広告への出稿を希望される企業のご担当者様は、当学会のホームページに掲載した応募様式に記入のうえ、以下のメールアドレスまでご連絡をお願いします。なお、メールの件名には、『就職説明会開催情報広告の件』と明記してください。また、本支援サービスに関するご不明点などもお気軽にお問い合わせください。なお、申し込みにあたっての別途費用は不要です。

【募集広告の申し込み時期について】

今回の就職説明会の開催情報についての広告の申し込みは随時受け付けております。当学会にて応募様式を受領後、内容を確認の上、情報発信の手続きを進めさせていただきます。

【本支援サービスへの応募にあたっての留意事項】

- (1) 当学会では、OR関連企業とOR専攻学生を結びつけるための情報提供・広告を実施いたしますが、企業と学生との間の連絡等のコミュニケーションを仲介いたしません。
- (2) 就職説明会や開催情報についての広告は、OR専攻学生以外も目にする可能性があることから、想定外の学生から応募があることや、逆に全く応募がないことも考えられます。当学会では応募者の質や量などに関しては関知いたしません。
- (3) 応募内容によっては、当学会の判断でお申し込みをお断りすることがございます。

会員の皆様におかれましては本支援サービスの積極的なご活用を期待しております。

【申込先】

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 研究普及委員会 就職説明会情報広告担当

E-mail: internship@orsj.or.jp TEL: 03-3851-6100

*学会ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/index.html>

*就職説明会開催情報募集の応募用紙ダウンロード（word）：

<http://www.orsj.or.jp/members/announce.html#jobfair>

*就職説明会開催情報の広告掲載：<http://www.orsj.or.jp/members/recruit.html>

2018年度年会費納入のお願い

2018年度（2018年3月1日～2019年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの支払取扱票は、2018年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名/法人名/法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書/見積書/納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 シヤ）ニホンオペレーションズリサーチ ガクカイ
-------	--

郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会
--------	--

ゆうちょ銀行	〇一九（ゼロイチキョウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会
--------	---

年会費（不課税） 正会員 14,400円

学生会員 5,000円

シニア会員 7,200円

*手数料は払込人様ご負担でお願いします。

*お名前はフルネームでお書きください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請/承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

学会事務局夏季休業のお知らせ

2018年8月13日（月）～17日（金）

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2018年1月22日に「2018年度年会費」を引き落としさせていただきました。

2018年3月ご卒業の学生会員の方へ

1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ

新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先/自宅）および、OR誌送付先（所属先/自宅）を事務局にお知らせください。

2018年度の会費はそのままです。2018年11月に2019年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

①WEBからの入会申込み

②入会金600円のお振込み

③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所/所属先/メールアドレス/ OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。